

荒川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、荒川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、荒川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和42年羽越水害と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化(浸透対策)等【羽越河国、新潟県、村上市】
- ・砂防関係施設の整備【飯豊砂防、新潟県】
- ・公共下水道雨水幹線の整備【村上市】
- ・既存ダム5ダムにおける事前放流等の実施・体制構築【羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力】
- ・田んぼダムの取組【新潟県、村上市、荒川土改】
- ・ため池の防災水管理【山形県、新潟県、村上市】
- ・森林整備対策(間伐、林道整備等)【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
- ・治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】

● 被害対象を減少させるための対策

- ・多段階な浸水リスク情報の充実【羽越河国】

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・避難体制の強化
(ハザードマップ作成周知、マイタイムラインの普及促進、防災教育や防災知識の普及、要配慮者避難確保計画策定)
- ・土地の水災害リスク情報の充実
(中小河川における浸水想定区域図作成)
- ・経済被害の軽減
(排水計画検討等、林道整備の推進(災害時において代替路機能))
- ・関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化
(災害時等のJETT派遣及び気象支援資料の提供)

● グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

● 令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進(別紙)

村上市

- 洪水氾濫対策**
- ・普通河川滝矢川改修(護岸整備)
- 内水氾濫対策**
- ・公共下水道雨水幹線の整備
 - ・流域の雨水貯留機能の向上
 - ・田んぼダムの取組
 - ・ため池の防災水管理

- 避難体制の強化**
- ・ハザードマップ作成周知
 - ・マイタイムラインの普及促進
 - ・防災教育や防災知識の普及
 - ・要配慮者避難確保計画策定 等



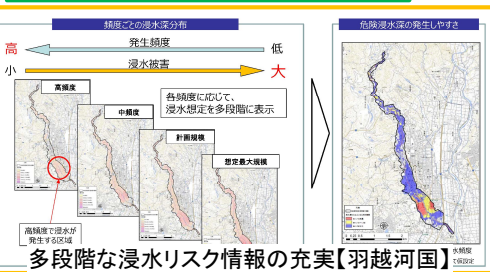
学校授業におけるマイタイムライン作成支援【村上市】



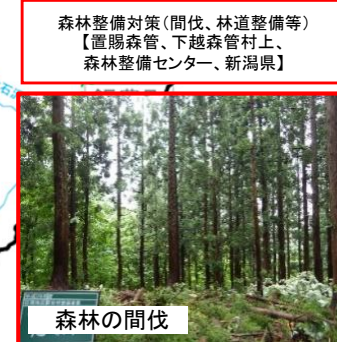
住民参加型防災訓練【胎内市】



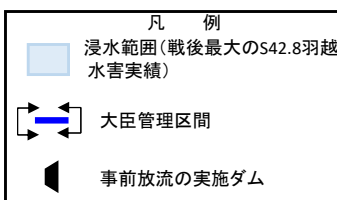
田んぼダムの取組【荒川土改】(落水調整板の設置)



多段階な浸水リスク情報の充実【羽越河国】



森林の間伐



※本図の浸水範囲は、大臣管理区間における荒川本川の氾濫によって生じる範囲を示しており、支川等他区間の氾濫による浸水範囲は含まれていません。

荒川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

●荒川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村、利水ダム管理者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】浸水被害が最も大きい岩船駅周辺の浸水深軽減のための河道掘削を実施。(岩船駅周辺の小中学校の被害解消)

田んぼダムの取組、雨水幹線の整備等の流域における対策、住民の防災意識向上のための取組等のソフト対策を実施。

【中長期】堤防強化対策として水衝部対策、浸透対策を実施。洪水時に流下阻害となる河口砂州対策の実施。

●令和4年8月の大雨を踏まえた荒川水系流域治水プロジェクトの推進。(別紙)

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程※2	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	河道掘削	羽越河国	[Red bar]	
	水衝部対策、堤防強化(浸透対策)		[Red bar]	
	河口砂州、堤防整備、支川合流点対策		[Red bar]	
	乙大日川改修(河道拡幅、堤防整備)	新潟県	[Red bar]	
	普通河川滝矢川改修(護岸整備)	村上市	[Red bar]	
	公共下水道雨水幹線の整備	村上市	[Red bar]	
	砂防関係施設の整備	飯豊砂防、新潟県	[Red bar]	
	既存ダムによる事前放流の実施	羽越河国、荒川水力、赤芝水力、東北電力	[Red bar]	
	田んぼダムの取組	新潟県、村上市、荒川土改	[Red bar]	
	ため池の防災水管理	山形県、新潟県、村上市	[Red bar]	
	森林整備対策(間伐等、林道整備)	置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県	[Red bar]	
治山対策	置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県	[Red bar]		
被害対象を減少させるための対策	多段階な浸水リスク情報の充実	羽越河国	[Yellow bar]	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制の強化、土地の水災害リスク情報の充実、経済被害の軽減関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	羽越河国、置賜森管、下越森管村上、山形気象台、新潟気象台、山形県、新潟県、小国町、村上市、胎内市、関川村、荒川水力、赤芝水力、東北電力 等	[Green bar]	
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	羽越河国	[Green bar]	
	生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成	新潟県、村上市、荒川土改	[Green bar]	
	治水対策における多自然川づくり	羽越河国	[Green bar]	
	治水対策における多自然川づくり	新潟県、山形県	[Green bar]	
	荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取り組み	羽越河国	[Green bar]	
		小国町、村上市、関川村	[Green bar]	
	大石ダムフラッシュ放流の試行	羽越河国	[Green bar]	
	ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出	羽越河国、関川村、小国町、飯豊砂防	[Green bar]	
	魅力ある水辺空間の創出	村上市	[Green bar]	
		関川村	[Green bar]	
健全なる水循環系の確保	下越森管村上、森林整備センター、置賜森管、山形県、新潟県	[Green bar]		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【事業規模】

- 河川対策
全体事業費 約109億円
対策内容 河道拡幅、堤防整備、河道掘削、水衝部対策、堤防強化(浸透対策)、災害復旧等
- 砂防対策
全体事業費 約398億円
飯豊山系直轄砂防事業、災害復旧等
- 下水道対策
全体事業費 約7億円

※2:スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

荒川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『トミヨなど多様な生物が生息する、荒川らしい豊かな自然環境の創出』

- ▶ 荒川では、「たんぼ」(※)をはじめとする良好な自然環境を数多く有し、またH15～H17年には1級河川において水質日本一（指標BOD）となるなど、豊かな自然環境が「清流荒川」として親しまれている。（※湧水のあるワンドの地域呼称）
- ▶ 清流荒川を象徴するトミヨやカワラハハコ、ハクセキレイなどの荒川らしい生物が生息・生育できる環境を保全・再生するため、今後約10年間で、かつて数多く見られたたんぼや礫河原等の河川環境を再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



- 自然環境の保全・復元などの自然再生
 - ・たんぼの保全・再生・礫河原の再生【羽越河国】
- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
 - ・田んぼダムによる水鳥等の採餌場、生息環境創出【新潟県・村上市・荒川土改】
 - ・農業用ため池の水管理による自然環境の保全・復元【新潟県・村上市】
- 治水対策における多自然川づくり
 - ・たんぼの保全【羽越河国】
 - ・多様な生物の生息環境の保全・創出【羽越河国】
 - ・多自然川づくりの考え方に基づく災害復旧【山形県】
 - ・乙大日川改修における動植物の良好な生息・生育環境の保全【新潟県】
- 荒川の自然環境を活用し、地域と連携した取り組み
 - ・小中学校における河川環境学習(水生生物調査等)【羽越河国】
 - ・地元NPOの協力による、たんぼのモニタリング、河川清掃【羽越河国】
 - ・町民参加による河川清掃【小国町】
 - ・地域団体等と連携し、子供たちの自然体験や学習の場として水辺空間を活用【関川村】
 - ・地域団体等と連携し、荒川やさざれ石等の自然環境を活かしたカヤック体験イベントの実施【関川村】
 - ・荒川における保育園児による鮭稚魚の放流、鮭の生態学習への活用【村上市】
- 大石ダムフラッシュ放流の試行
 - ・ダム下流河川に生息する、アユ、カジカの生息環境を保全するためフラッシュ放流の試行を継続【羽越河国】
- ダム湖、流路工を活用した賑わいのある水辺空間の創出
 - ・白い森おぐに湖(横川ダム)、おおいし湖(大石ダム)を活用した地域活性化および上下流の取り組みを推進【羽越河国】
 - ・おおいし湖を活用した地域活性化イベントの開催、民間事業者と連携したカヌー体験イベントの実施【関川村】
 - ・白い森おぐに湖及び荒川流路工(飯豊砂防)を活用した自然体験による地域活性化の取り組み推進【小国町】
- 魅力ある水辺空間の創出
 - ・神林水辺の楽校の施設更新【村上市】
 - ・荒川河川敷の畑への活用による高齢者等の生きがいがづくり【関川村】
- 健全なる水循環系の確保
 - ・森林が有する多面的機能の発揮のための森林整備【置賜森管、下越森管村上、森林整備センター、新潟県】
 - ・保安林等における荒廃地の復旧整備等の治山対策【置賜森管、下越森管村上、山形県、新潟県】

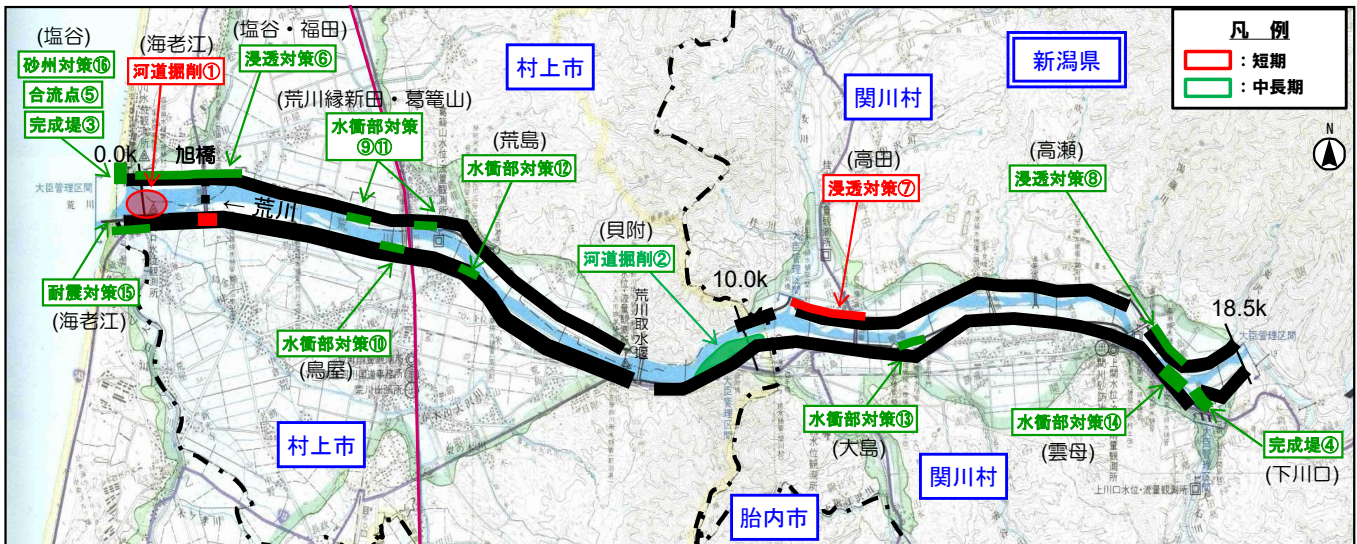


荒川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

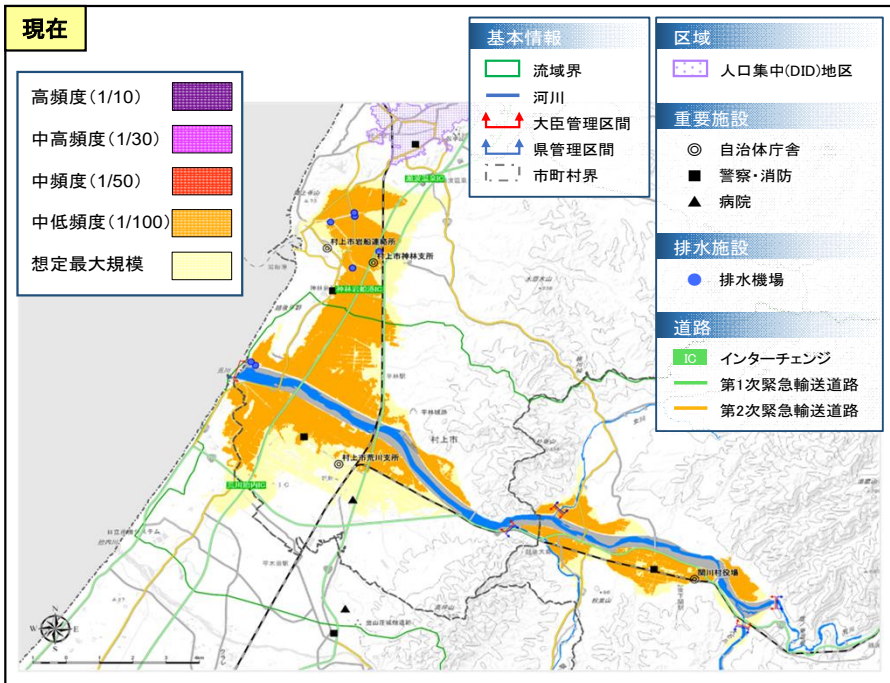
河口部(海老江地区)の河道掘削により、戦後最大であるS42.8羽越水害と同規模の洪水において、村上市街地等の浸水被害を軽減可能(浸水面積12%減少)

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約75.7%→約80.9%

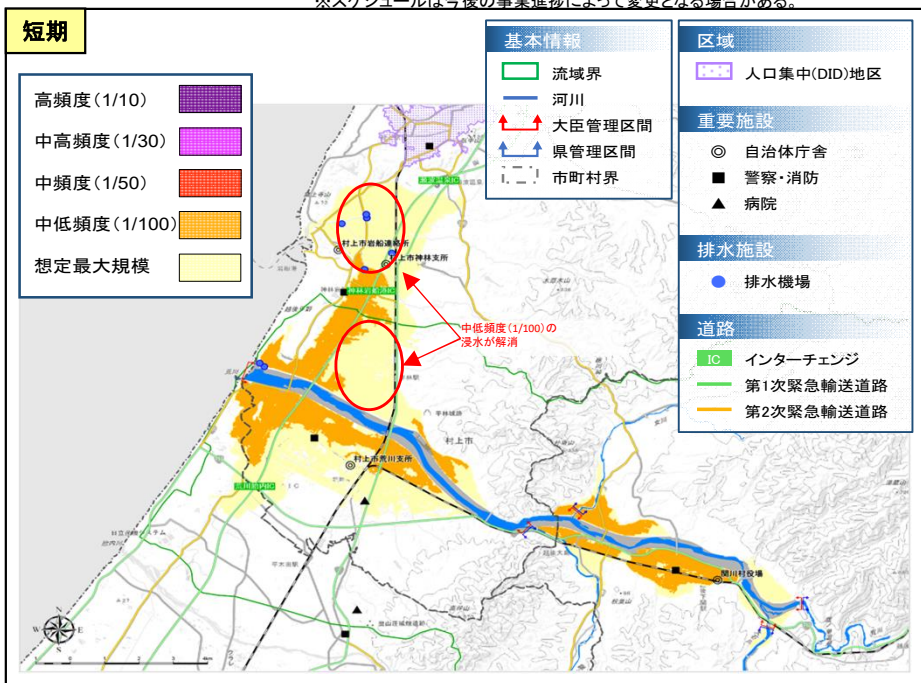


区分	対策内容	区間	R3		備考
			短期(R3~R7)	中長期(R8~R16)	
河道掘削	①地区(海老江)	下流部	92.0%	100%	海岸事業(養浜)砂利採取との連携
		中流部		100%	
築堤	③地区(塩谷) ④地区(下川口)	下流部		100%	完成堤(暫定堤解消)
		下流部		100%	
合流点処理	⑤地区(塩谷)	下流部		100%	堀川合流点
浸透対策	⑥地区(塩谷・福田) ⑦地区(高田)	下流部		100%	
		上流部	100%		
水衝部対策	⑧地区(高瀬)	上流部		100%	
水衝部対策	⑨~⑪地区(荒川線新田、鳥屋、養龍山地)	上・中・下流部		100%	
耐震対策	⑫地区(海老江)	下流部		100%	
河口砂州対策	⑬地区(塩谷)	下流部		100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増加が生じる場合がある。



注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増加が生じる場合がある。

荒川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～荒川流域の浸水被害の軽減に向けた治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備率（見込）



整備率：80.9%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



1市町村

（令和5年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和4年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 8箇所
（令和5年度実施分）
砂防関連施設の
整備数 0施設
（令和5年度完成分）
※施行中 6施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和5年7月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 6河川
（令和5年9月末時点）

内水浸水想定区域 0団体
（令和5年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 80施設
計画 土砂 11施設
（令和5年9月末時点）

個別避難計画 2市町村
（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

田んぼダムの取組



落水調整板の製作



“発祥の地”の幟旗



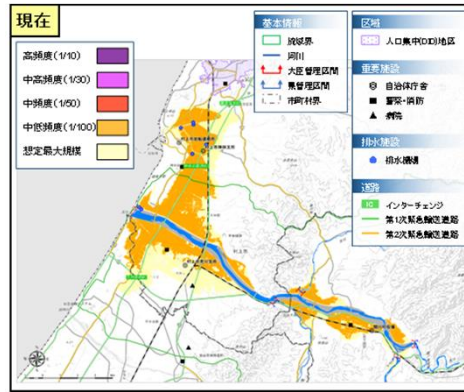
落水調整板の設置・更新



- 実施機関：新潟県、村上市、荒川土改
- 実施概要：当該地域はH14年に全国に先駆けて、田んぼダムの取組を始めた“田んぼダム発祥の地”である。
現在、約1,200haの田んぼで本取組が実施されている。（荒川土改の域内水田の約1/3で実施されている）

被害対象を減少させるための対策

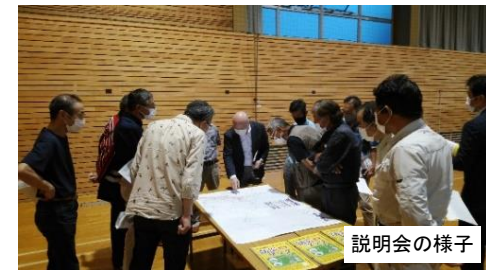
水害リスクマップの作成



- 実施機関：羽越河川国道事務所
- 実施概要：降雨確率に応じた浸水範囲を重ねた浸水リスク範囲を示したものを作成し、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりを推進する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

ハザードマップ作成周知



説明会の様子

- 実施機関：小国町
- 実施概要：L2対応のハザードマップを作成し配布を実施。配布にあたって町内10箇所で開催。

親子マイ・タイムライン教室



グループワーク



グループ発表

- 実施機関：新潟県、村上市
- 実施概要：生徒と保護者が一緒にハザードマップや避難行動などについて学び、グループワークによりマイ・タイムラインを作成